

【教科名】 英語 【学年】 第 1 学年 【担当】 田中 豪

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数
1 学 期	Sounds and letters	アルファベットの音と読み。ヘボン式ローマ字。フォニックスの初歩	4
	Unit1 Here we go.	I am～. I like～. I can～.	12
	Unit2 School Activities	Are you～ ? Do you～ ? Can you～ ?	12
	World Tour	review	1
	Unit3 Enjoy the Summer	What do you～ ? I like dancing. I want to ～.	12
	Let's Read 1	review	5
	Active Grammer 1	am, are / 一般動詞 / can	1
	You Can Do It! 1	review	1
2 学 期	Unit4 Our New Friend	He is ～ ./she is ～ . Who is～ ? Is this～ ?/This isn't～ .	12
	Daily Life 1	Whose～?	3
	Active Grammer 2	代名詞	1
	Unit5 Hi, David!	Where～ ? Turn on your camera. When～ ?	12
	Daily Life 2	Can I have～? / Which would you like, ～ or …?	3
	Unit6 Cheer Up, Tina	She likes～ . Dose she ～ ? She doesn't ～ .	12
	Daily Life 3	What time～?	3
	Active Grammer 3	is / 3人称単数現在形	1
	Daily Life 4	How～? / How long～?	3
	Active Grammer 4	疑問詞	1
	You Can Do It! 2	review	1
	Unit7 The New Year in Japan	I went～ . Did you～ ? It was～ .	13
3 学 期	Active Grammer 5	動詞の過去形	1
	Daily Life 5	review	3
	Unit8 Getting Ready for the Party	I am baking～. Are you baking～ ? I was shopping～.	13
	World Tour 2	review	1
	Active Grammer 6	現在進行形 / 過去進行形	1
	Let's Read 2	review	3
	You Can Do It! 3	review	1
	Let's Read More	review	4
【合計時間】			140

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。 	単語/単元テスト 定期考査
思考・判断・表現	1	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	単語/単元テスト 定期考査 パフォーマンステスト
主体的に学習に取り組む態度	1	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	単語/単元テスト 定期考査 パフォーマンステスト 授業での取組

【教科名】 数学

【学年】 第 1 学年 【担当】

津本 光一
工藤 涼
川合 元治
熊谷 佳苗

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数
1 学 期	0 章 算数から数学へ	1 節 整数の性質	5
	1 章 正負の数	1 節 正負の数	4
		2 節 加法と減法	8
		3 節 乗法と除法	11
		4 節 正負の数の利用	3
	2 章 文字と式	1 節 文字を使った式	8
		2 節 文字式の計算	7
		3 節 文字式の利用	2
2 学 期	2 章 文字と式	3 節 文字式の利用	2
	3 章 方程式	1 節 方程式とその解き方	8
		2 節 1 次方程式の利用	7
	4 章 比例と反比例	1 節 関数と比例・反比例	5
		2 節 比例の性質と調べ方	8
		3 節 反比例の性質と調べ方	7
		4 節 比例と反比例の利用	4
	5 章 平面図形	1 節 図形の移動	6
		2 節 基本の作図	8
		3 節 おうぎ形	5
	6 章 空間図形	1 節 いろいろな立体	3
3 学 期	6 章 空間図形	2 節 立体の見方	9
		3 節 立体の体積と表面積	6
	7 章 データの分析と活用	1 節 データの整理と分析	5
		2 節 データの活用	5
		3 節 ことがらの起こりやすさ	4
【合計時間】			140

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・定期考査・小テスト ・レポートなどの提出物
思考・判断・表現	1	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	・定期考査・小テスト ・レポートなどの提出物
主体的に学習に取り組む態度	1	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	・小テスト ・リポートやレポートなどの提出物

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数
1 学 期	言葉に出会うために	学習の仕方	2
	【読物語】 始まりの風	場面の展開・登場人物の描写・登場人物の気持ちの変化	4
	【聞】 情報を聞き取り、要点を伝える	聞き方 情報整理	1
	【話】 話の構成を工夫しよう	情報収集 構成	4
	【言】 音声のしくみや働き	母音と子音、アクセント	1
	【言】 漢字の組み立てと部首・漢字に親しむ	漢字の組み立てと部首	1
	【説明】 ダイコンは大きな根？	段落の役割	2
	【説明】 ちょっと立ち止まって	主張と事例の関係 要旨	3
	【書】 情報を整理して説明しよう	主張と事例の関係整理	5
	【知】 指示する語句と接続する語句	指示語と接続語の文中の役割	1
	【読・書詩】 空の詩三篇 創作	詩の情景を想像・表現効果	4
	【説明】 比喻で広がる言葉の世界	表現技法の理解・効果	3
	【言】 言葉のまとまりを考えよう	ことばの単位・文節の関係	2
	【読・書】 情報収集の達人になろう	グラフ等情報の読み取り	3
	【話】 読書を楽しむ ビブリオバトル	本の紹介	3
	【書写】 楷書の書き方・筆遣い	漢字の筆使い 点画の種類 字形の整え方	8
2 学 期	【物語】 大人になれなかった弟たちに・・・	描写と心情の関連	5
	【小説】 星の花が降るころに	場面描写と内容理解	4
	【書】 項目を立てて書こう 推敲	目的に応じての適切な文	4
	【言】 方言と共通語	方言、共通語の役割	1
	【話聞】 聞き上手になろう	相手を意識した質問の仕方の工夫	2
	【言】 漢字の音訓 漢字に親しもう	漢字の音訓について理解	2
	【言】 言葉の関係を考えよう	文節の関係	3
	【記録文】 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	文章の構成・展開の効果と根拠	4
	【書・言】 根拠を明確にして書こう 意見と根拠	図表の引用	4
	【古典】 蓬萊の玉の枝	仮名遣い、古典の世界の想像 暗唱	5
	【漢文】 今に生きる言葉	故事成語を理解、自分の生活との関連づけ	3
	【意見文】 「不便」の価値を見つめ直す	本文を要約・主張をとらえ自分の意見をもつ	4
	【言】 原因と結果	原因と結果の関係	1
	【話】 本の世界を広げよう ビブリオバトル	本の紹介	2
	【書写】 書き初め・行書	書き初め・かな・行書	9
3 学 期	【小説】 少年の日の思い出	表現と視点・登場人物の物の見方	7
	【解説】 研究の現場にようこそ	筆者の考えと自分の考えの比較	2
	【話聞】 話題や展開を捉えて話し合おう	意見と根拠を持った話し合い	4
	【随筆】 二十歳になった日	筆者の感じ方と表現効果	2
	【書】 構成や描写を工夫して書こう	自分の体験の意味づけをし随筆を書く	5
	【言】 単語の性質	性質による単語の分類	3
	【言】 漢字の成り立ち・漢字に親しもう	四つの成り立ちについての理解	2
	【詩】 ぼくがここに	作者の思いを読み取り	3
	【読・書】 国語の力だめし	一年間の学習を振り返り問題の取り組む	4
	【書写】 硬筆	文字の大きさと配列	3
	【言】 百人一首	百人一首	5
【合計時間】			140

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	発言・ワークシート ノート・作品 小テスト 定期考査など
思考・判断・表現	1	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	発言・発表・話し合い 聞き取りテスト・作文 ワークシート・ノート 定期考査など
主体的に学習に取り組む態度	1	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	授業での取組・発言 ノート・提出物など

【教科名】 **社会** 【学年】 **第1学年** 【担当】 **茂田井 一人**

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数
1 学 期	【地理】世界の姿	六大陸・三海洋/世界の地域区分/緯度と経度/地球儀と世界地図	8
	【地理】日本の姿	日本の位置/時差	4
	【地理】世界のさまざまな地域	暑い/乾燥/温暖/寒い/高地 の地域の暮らし/世界の宗教	13
	【歴史】歴史へのとびら	時代区分の方法/西暦や元号/世紀の区切り方	5
	【歴史】世界の古代文明と宗教のおこり	人類の出現/四大文明/大帝国の出現と交流	7
2 学 期	【歴史】日本列島の誕生と大陸との交流	旧石器時代/縄文時代/弥生時代/大和政権	4
	【地理】オセアニア州	自然環境/移民の歴史と多文化社会/産業/アジアとの結びつき	4
	【地理】アフリカ州	自然環境/文化と歴史/産業と経済/アフリカの抱える問題	4
	【地理】ヨーロッパ州	自然環境/文化/統合と人々の生活/農業/EUの工業	6
	【歴史】古代国家の歩みと東アジア世界	聖徳太子/飛鳥文化/律令国家/奈良時代/平安時代/国風文化	13
	【歴史】武家社会の始まり	武士の発生/平氏政権/封建制度/承久の乱/鎌倉文化	6
	【歴史】ユーラシアの動きと武家政治の変化	13世紀ごろのユーラシア/元寇/南北朝の内乱/室町幕府/	6
	【歴史】結びつく民衆と下克上の世界	商工業の発達/土一揆/応仁の乱/文化	4
3 学 期	【地理】北アメリカ州	自然環境/移民の歴史と民族構成/農業/工業/世界に広がる影響	6
	【地理】南アメリカ州	自然環境/民族と生活/農業と工業/環境問題/開発の問題	4
	【地理】アジア州	自然環境/農業や文化/中国/東南アジア/南アジア/西・中央アジア	6
	【歴史】近世の日本と世界	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	5
【合計時間】			105

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	定期考査・小テスト
思考・判断・表現	1	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	定期考査・小テスト ワークシート 論述課題
主体的に学習に取り組む態度	1	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	単元振り返りシート ワークシート ワーク 授業での取組

【教科名】

理科

【学年】

第 1 学年

【担当】

佐々木 貴志
大隈 由美子

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数
1 学 期	理科 1 (佐々木)		
	単元1 いろいろな生物とその共通点	生物の観察と分類のしかた	6
		植物の分類	6
	理科 2 (大隈)		
	単元2 身のまわりの物質	身のまわりの物質とその性質	11
		気体の性質	8
		水溶液の性質	5
2 学 期	理科 1 (佐々木)		
	単元1 いろいろな生物とその共通点	植物の分類	2
		動物の分類	7
	単元4 大地の変化	火をふく大地	4
		動き続ける大地	3
	理科 2 (大隈)		
	単元2 身のまわりの物質	水溶液の性質	4
		物質の姿と状態変化	10
	単元3 身のまわりの現象	光の世界	14
		音の世界	4
3 学 期	理科 1 (佐々木)		
	単元4 大地の変化	動き続ける大地	2
		地層から読み取る大地の変化	5
	理科 2 (大隈)		
	単元3 身のまわりの現象	音の世界	2
		力の世界	12
【合計時間】			105

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	定期考査、小テスト パフォーマンステスト レポート等の課題
思考・判断・表現	1	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	定期考査、小テスト パフォーマンステスト レポート等の課題
主体的に学習に取り組む態度	1	自然の事物・現象に進んで関り、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	授業や観察実験への取組 状況 レポート等の課題

【教科名】 音楽 【学年】 第1学年 【担当】 大熊恵子

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数
1 学 期	歌唱の基本	音楽的な発声と姿勢、発声の基礎について理解し実践する。	2
	曲想と指揮	音楽の特徴や曲想を表現するための、指揮の表現技能を身に付ける。	2
	鑑賞の基本	情景を想像したり演奏者や楽器に注意しながら楽曲を味わう。	3
	歌唱表現の工夫	旋律・形式・構成を知覚し、どのように歌うか思いや意図をもつ。	3
	パートの役割	全体の響きや各声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する。	4
2 学 期	パートの役割	全体の響きや各声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する。	1
	歌唱表現の工夫	全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて表現する。	5
	古くから伝わる日本の合奏音楽の魅力	音色、旋律、テクスチュアを知覚し、雰囲気を感じ、よさを味わう。	2
	日本の楽器の演奏（伝統の継承）	楽器の特徴を捉え、基礎的な奏法を生かして演奏する。	4
	日本の音階を使った創作	表したいイメージをもち、条件に沿った音の選択を身に付ける。	3
	音のつながり方の特徴を生かした創作	リズム、旋律を知覚し、思いや意図をもち音楽を作る。	4
	日本の民謡の特徴	声の音色や響きと発声との関わりについて理解する。	2
	日本の民謡の特徴	声の音色や響きと発声との関わりについて理解する。	1
	イメージと音楽の関わり	知覚・感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさを味わう。	2
3 学 期	歌唱表現の工夫	全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて表現する。	5
	音のつながり方の特徴を生かした創作	リズム、旋律を知覚し、思いや意図をもち音楽を作る。	2
【合計時間】			45

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	・曲想と音楽の構造や背景などとの関り及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。	授業への取組・発言 提出物・実技テスト 定期考査
思考・判断・表現	1	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	ワークシート・教科書 定期考査・提出物 振り返りシート
主体的に学習に取り組む態度	1	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	授業への取組・発言 実技テスト・提出物 ワークシート 振り返りシート

【教科名】 技術 【学年】 第 1 学年 【担当】 佐々木 勇暉

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数
1 学 期	ガイダンス	生活や社会における技術の役割	3
	材料と加工の技術	生活や社会と材料と加工の技術	4
		材料を利用するための技術（製図）	3
		材料を利用するための技術	2
2 学 期	材料と加工の技術	材料を利用するための技術	3
		問題解決の手順	6
		製作のための技能 （試作品の製作/教科書を整理する本棚をつくろう）	7
3 学 期	材料と加工の技術	製作のための技能（教科書を整理する本棚をつくろう）	6
		これからの材料と加工の技術	1
【合計時間】			35

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	製作品の進捗・内容 ワークシート レポート 実習の取組・定期考査
思考・判断・表現	1	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	授業への取組 ワークシートの内容 製作品・レポート 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	1	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	授業への取組 活動の様子 ワークシートの内容 製作品・レポート 準備物・提出物

【教科名】 家庭 【学年】 第 1 学年 【担当】 内池 昌子

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数
1 学 期	自分の成長と家族・家庭生活	家庭分野ガイダンス、家庭のはたらき	1
	食事の役割と食習慣	食事の役割、生活習慣と食事	2
	中学生に必要な栄養を満たす食事	中学生に必要な栄養	2
		食品と栄養素	2
	地域の食文化	地域の食材と食文化	2
	日常食の調理・生活の課題と実践	調理の基本	1
2 学 期	日常食の調理	調理の基本	2
	日常食の調理	野菜の調理	2
	日常食の調理	肉の調理	2
		魚の調理	2
	さまざまな食品とその選択	生鮮食品と加工食品	1
		食品の表示、食品の選択・購入と保存	2
		食品の安全と情報	2
	献立づくり	1 日分の献立	2
3 学 期	目的に応じた衣服の選択	日常着の活用	3
	日常着の手入れと保管	日常着の手入れ	4
	生活を豊かにするものの製作	布を用いた物の製作	3
【合計時間】			35

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 作業の進度や内容 ワークシートやレポートの内容 実習の取組の様子 定期考査
思考・判断・表現	1	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取組 ワークシートの内容 製作やレポートの内容 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	1	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 授業への取組、活動の様子 ワークシートの内容 作品やレポートの内容

【教科名】 **保健体育** 【学年】 **第1学年** 【担当】 **笹岡宙希**

【学習計画】

	単元	主な学習内容	時数
1 学 期	体育理論	文化としてのスポーツの意義	3
	体づくり運動	集団行動、体力を高める運動、体ほぐしの運動	4
	陸上競技	短距離・リレー	7
	球技	ゴール型	7
	水泳	クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ	4
2 学 期	水泳	クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ	3
	器械運動	マット運動	7
	球技	ネット型、ゴール型	14
	陸上競技	高跳び・幅跳び・ハードル走・長距離走	6
	ダンス	現代的なリズムのダンス	6
3 学 期	器械運動	跳び箱運動	7
	球技	ゴール型、ベースボール型	14
	武道	柔道	7
	保健（1～3学期）		16
【合計時間】			105

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・技能	1	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	授業観察/学習カード 実技テスト 提出物/定期考査
思考・判断・表現	1	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	授業観察/学習カード 実技テスト 提出物/定期考査
主体的に学習に取り組む態度	1	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	授業観察/学習カード 実技テスト 提出物/定期考査

【学習計画】

	題材	主な学習内容	時数
1 学 期	授業の受け方	美術の授業のルールとマナー・評価評定について・授業評価と授業改善について 授業準備とかたづけ・外出届・授業個人カートの記入のしかた	1
	鉛筆素描	「手」を鉛筆で描く ポーズを決める・大きさ決定・形の捉え方・鉛筆の使い方・「手」の構造・機能を知る 線の強弱による描きこみ・明暗表現・描きこみ・鑑賞 レオナルド「最後の晩餐」のそれぞれの手がどのようになっているか鑑賞する	3
	配色と絵具の使い方	色の性質・三要素・配色・絵具の混色・美しい配色・特徴的な配色 絵具の塗り方	8
	木彫壁飾りのデザイン	動物の特徴を捉える・板の大きさを有効に使う・木目の特徴を活かす 壁飾りになるようなデザインを工夫する・糸鋸の安全な使い方を知る	3
	第 1 回定期考査	1 学期に授業で学習した知識・技能・鑑賞	
2 学 期	木彫壁飾りの仕上げ	紙やすりで表面を滑らかにし、ニス塗装、ワックスで仕上げる 桂材の木目を活かし美しく仕上げる	6
	ゴッホ彩色模写	ゴッホの「ひまわり」「アルルの部屋」を選んで彩色模写する ゴッホの配色は模倣せず、自分独自の配色、タッチで描く	9
	第 3 回定期考査	2 学期に授業で学習した知識・技能・鑑賞	
	スクラッチ	何をどう描くか、自分で決めて発想を展開する 制作過程を見通して制作する	5
3 学 期	人物彫塑	素体の比例関係をとらえ、動きを感じさせるポーズをモデリングする 人物の特徴をとらえ、骨格と肉付けを多方向からとらえる	10
	第 4 回定期考査	学年の授業で学習した知識・技能・鑑賞のまとめ	
【合計時間】			45

【評価計画】

評価の観点	割合	観点の趣旨	評価項目
知識・理解	1	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	作品 定期考査
思考・判断・表現	1	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を見出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	作品 ワークシート 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	1	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	作品 授業カード 定期考査